

令和6年度 行財政改革審議会  
意見書に対する取組事項

## 令和6年度 行財政改革審議会意見書

## (1) 公有財産マネジメントの推進

番号	担当課	項目	意見要点
①	理財課	公有財産マネジメントの推進について	<p>公有財産マネジメント推進部会より、処分・再編成すべき施設として提言のあった55の全ての施設について、処分方針を決定し、着実な実行を求める。また、施設を解体する際には、跡地の活用方法を事前に検討し、慎重に進めること。</p> <p>美咲町行財政改革の成果として、削減できる維持管理費などの「見える化」を進めること。</p>

## (2) 民間活力活用の推進

番号	担当課	項目	意見要点
②	みさき共創室	民間活力活用について	<p>取り組むべき行政課題と、その課題解決につながる民間サービスのマッチングが重要である。小規模多機能自治と連携し、情報共有やニーズの把握に努め、マッチング効率上がる仕組みを検討すること。</p> <p>また、町の実情を把握し、長期的に関わることでできる町内事業者との連携強化に努めること。町内事業者との関わりの中で、人間関係の構築や、将来的にまちづくりの主体が作られることを期待する。</p>

## (3) 行政経営の推進

番号	担当課	項目	意見要点
③	理財課	公の施設に関する使用料の見直しについて	<p>平成17年の合併以来、一度も使用料の見直しをしたことがなく、物価上昇などの社会経済環境の変化に適切した料金設定になっていないものがあると考えられる。各施設の今後の利用状況を想定し、将来を見据え、施設ごとの相応の受益者負担を考慮した料金設定となるよう見直しをすること。施設の使用料には、小規模多機能自治や指定管理者制度なども関係しており、見直しの際には各観点からも慎重に検討すること。</p>

## (4) 住民ニーズに合わせた事業見直し

番号	担当課	項目	意見要点
④	くらし安全課	黄福タクシー制度の現状と無償福祉バスの今後のあり方について	<p>黄福タクシー制度は有効な施策であるが、財源や担い手不足から、需要と供給のバランスを維持することが今後難しくなることが予想される。年齢別の人口推移などから、今後の利用人数をシミュレーションするなどの正確なデータ分析とともに、実際の利用者に話を聞くなど、利用者側の情報収集をしながら今後の方向性を示すこと。</p> <p>無償福祉バスは、本数の多いスクールバスの運行形態に合わせて運行するなど、効率的な運用を検討すること。</p>

## 令和6年度 行財政改革審議会意見書

### (5) 行政組織力の向上

番号	担当課	項目	意見要点
⑤	総務課	働き方改革の推進について	<p>専門職の採用については、住民の生活に直結する部分も多く、早急に対応策の検討を求める。所属を超えた各課の連携強化や窓口サービスの改善に取り組み、業務効率化に努めること。また、育児や介護、病気療養等で職員が一定期間休職するときには、周囲の職員への精神的・身体的負担をなるべく軽減できるよう、代替となる人材を確保するなどの対応が必要と考える。</p> <p>働き方改革の評価は非常に難しいため、職員へのフィードバックやアンケート等の調査をしながら、継続的に効果を図ること。</p>

### (6) 住民との協働

番号	担当課	項目	意見要点
⑥	地域みらい課	小規模多機能自治について	<p>住民主導で進められている小規模多機能自治は、有効な取り組みである。社会福祉協議会と連携し、小地域ケア会議を活用した支援策を検討するなど、地域全体の機運を底上げしながら、取り組みの継続と更なる進化を求める。活動の中で、協議会ごとで様々なアイデアが生まれ、それを行政が受け止められるような仕組みづくりも必要と考える。</p> <p>また、少子高齢化が進むことで、近い将来には運営が難しくなる協議会が出てくることが予想される。若い世代が活動に参加してもらえる方法や、近隣のまちづくり協議会と合併するなどの対応策を検討すること。</p>

## 令和6年度 水道事業検討部会提言書

### (1) 公有財産マネジメントの推進

番号	担当課	項目	提言
⑦	上下水道課	水道施設長寿命化に向けた計画作成及び取組について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現状の水道料金では、水道事業は直ぐに赤字に転落し、財政破綻するので早急に水道料金を値上げする必要がある。</li> <li>2. 水道施設の集約化を図り、長期的視点に立って効率的な維持管理を行うようにすべきである。</li> <li>3. 岡山県広域水道企業団からの水道の供給範囲の拡大、水道事業の広域連携の拡大をより図る必要がある。</li> <li>4. 小規模多機能自治組織を活用して美咲町独自の水道事業徴収業務等を創出する。</li> </ol>

令和7年度 事業進捗管理票

改革の柱	(1) 公有財産マネジメントの推進	担当課	理財課												
取組事項	方針が決定していない施設について、各施設関係者と協議を行い施設の方針決定	担当課長名	前田 有輝												
方針	方針が決定していない55施設中残りの18施設について、各施設関係者と協議を行う 施設解体後に売却できるものについては、入札等を実施し処分する	関係課	各施設担当課												
効果	各施設の老朽化状況等を把握し、公共施設等の維持管理に要する全体経費の削減 より効率的な修繕等や効率的な投資、未利用町有財産の処分を行うことによる財政状況の改善	完了年度	令和7年度												
取組目標	方針が決定していない残り18の施設について、各施設関係者と協議を行い方針・方向性の検討を行う 施設解体後に売却できるものについては、入札等を実施し処分する 削減できる維持管理費などの「見える化」を進める														
取組計画（スケジュール） 上段（黄色）＝予定 下段（×・△・○ 選択）＝経過・実績															
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	達成率	
①	目標・計画	各担当課へ地元との協議状況報告書提出依頼・ヒアリング実施（進捗管理・問題点の抽出）													
	経過・実績	△	△												
②	目標・計画	ヒアリングに基づき、方針・方向性を決定。施設解体後に売却できるものについては、入札等を実施し処分する													
	経過・実績														
③	目標・計画	①②を踏まえ、処分・再編成予定施設の現状をまとめ、問題点や課題等の「見える化」と維持管理費の削減へ繋げる													
	経過・実績														
④	目標・計画														
	経過・実績														
取組実績（効果額）	55の全ての施設の現状把握を行うことで各施設の老朽化状況等を把握し、公共施設等の維持管理に要する全体経費の削減						目標達成度								
状況・経緯・問題点等															
4月	公有財産マネジメント推進部会より処分・再編成すべき施設として提言のあった55の施設のうち、方針が決定していない施設が残り18施設となっているため対応を迅速に進める。今後は柵原西・東小学校の売却や役場の跡地活用等に向け、関係課と連携しながら協議・処分を続ける。														
9月															
11月															
2月															

経過・実績（進捗・状態）
×（未実施・何もしていない）
△（実施中）
○（完了・達成）

目標達成度（点数）	
未実施・何もしていない	0
協議中	25
実施に向けた準備中	50
目標達成に向けて取組中	75
完了・達成	100

令和7年度 事業進捗管理票

改革の柱	(2) 民間活力活用の推進	担当課	みさき共創室											
取組事項	官民共創事業の実施による地域課題の解決、住民福祉の向上	担当課長名	山本 政巳											
方針	効果的な官民共創事業の実施が可能となるよう仕組みを構築する	関係課	全庁											
効果	行政のみでは解決が困難な多様な地域課題に対し、民間の活力を活用することにより、課題解決を図る	完了年度	なし											
取組目標	連携協定の締結などにより、民間企業・大学と連携した事業を実施するとともに、効果的な官民共創事業の実施が可能となるよう体制を整備する													
取組計画（スケジュール） 上段（黄色）＝予定 下段（×・△・○ 選択）＝経過・実績														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	達成率
①	目標・計画	関係所属課の協力体制を構築し、優先的に実施する行政課題の洗出												
	経過・実績	×	×											
②	目標・計画	民間企業などが町内で円滑に活動できるよう体制を整備												
	経過・実績													
③	目標・計画	民共創事業の実施												
	経過・実績	△	△											
④	目標・計画													
	経過・実績													
⑤	目標・計画													
	経過・実績													
取組実績 (効果額)							目標達成度							
状況・経緯・問題点等														
4月	既存協定団体（岡山県立大学、日本生命と連携協定、アイドマ・ホールディングス）との連携													
9月														
11月														
2月														

経過・実績（進捗・状態）
×（未実施・何もしていない）
△（実施中）
○（完了・達成）

目標達成度（点数）	
未実施・何もしていない	0
協議中	25
実施に向けた準備中	50
目標達成に向けて取組中	75
完了・達成	100

令和7年度 事業進捗管理票

改革の柱	(3) 行政経営の推進	担当課	理財課											
取組事項	「使用料・手数料等の見直しに関する基本方針」を策定 見直し対象となる使用料、手数料の洗い出しを行い、関係課で見直し ができる体制を構築	担当課長名	前田 有輝											
方針	使用料・手数料算定方法の明確化を図る	関係課	全庁											
効果	使用料・手数料算定の見直しによるコスト削減による財政状況の改善	完了年度	なし											
取組目標	将来を見据え、施設ごとの相応の受益者負担を考慮した料金設定となるよう見直しができる体制を構築													
取組計画（スケジュール） 上段（黄色）＝予定 下段（×・△・○ 選択）＝経過・実績														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	達成率
①	目標・計画	使用料・手数料の見直しに関する基本方針の素案作成し、審議会に提示 見直し対象となる使用料、手数料の洗い出しを行う												
	経過・実績	△	△											
②	目標・計画	使用料・手数料の見直しに関する基本方針について議会へ提示												
	経過・実績													
③	目標・計画	関係課と協議・連携し見直しができる体制の構築												
	経過・実績													
④	目標・計画													
	経過・実績													
取組実績 (効果額)							目標達成度							
状況・経緯・問題点等														
4	将来を見据え、施設ごとの相応の受益者負担を考慮した料金設定となるよう見直しをするため、近隣市町村にヒアリングを行い基本方針等の資料を収集。理財課にて基本方針を作成し審議会に提示し審議を依頼。													
9	月													
11	月													
2	月													

経過・実績（進捗・状態）
×（未実施・何もしていない）
△（実施中）
○（完了・達成）

目標達成度（点数）	
未実施・何もしていない	0
協議中	25
実施に向けた準備中	50
目標達成に向けて取組中	75
完了・達成	100

令和7年度 事業進捗管理票

改革の柱	(4) 住民ニーズに合わせた事業見直し	担当課	くらし安全課											
取組事項	黄福タクシー制度の現状と無償福祉バスの今後のあり方について	担当課長名	水島寛之											
方針	利用状況やニーズを把握し、持続可能な制度にしていくために見直しをする。	関係課	保険年金課・福祉しあわせ課・健康推進課											
効果	住民ニーズや現状にあった公共交通の効率的な運用	完了年度	—											
取組目標	令和7年度黄福タクシー料金・利用要件、支所間バスの一本化等見直しを実施。利用状況やニーズを把握し、今後の方向性を示す。													
取組計画（スケジュール） 上段（黄色）＝予定 下段（×・△・○ 選択）＝経過・実績														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	達成率
①	目標・計画	黄福タクシー利用者からの情報収集												
	経過・実績	△	△											
②	目標・計画	黄福タクシー利用実績等の分析												
	経過・実績	△	△											
③	目標・計画	福祉巡回バス利用者からの情報収集												
	経過・実績	△	△											
④	目標・計画	福祉巡回バス利用実績等の分析												
	経過・実績	△	△											
⑤	目標・計画	利用状況やニーズ等を分析し、今後の方向性を示す。												
	経過・実績													
取組実績 (効果額)	住民ニーズや現状にあった公共交通の効率的な運用	目標達成度												
状況・経緯・問題点等														
4月	黄福タクシーについては、4月からの料金や利用要件変更に伴い、窓口やホームページ等で周知。福祉巡回バスについては、支所間バスの一本化、新庁舎移転に伴うルート変更に伴い、同じく窓口やホームページ等で周知。今後は利用者からの情報収集等を行う。													
9月														
11月														
2月														

経過・実績（進捗・状態）
×（未実施・何もしていない）
△（実施中）
○（完了・達成）

目標達成度（点数）	
未実施・何もしていない	0
協議中	25
実施に向けた準備中	50
目標達成に向けて取組中	75
完了・達成	100

令和7年度 事業進捗管理票

改革の柱	(5) 行政組織力の向上	担当課	総務課												
取組事項	開庁時間の短縮	担当課長名	平 一範												
方針	住民の利便性を損なわず働き方改革を実現する	関係課	くらし安全課												
効果	マンパワー不足の解消、人件費の節約	完了年度	令和8年度												
取組目標	令和8年度からの実証実験（開庁時間短縮）開始を目指す														
取組計画（スケジュール） 上段（黄色）＝予定 下段（×・△・○ 選択）＝経過・実績															
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	達成率	
①	目標・計画	必要なデータの収集・関係各所と協議	■	■	■	■									
	経過・実績		△	△											
②	目標・計画	行財政改革審議会で計画内容の審議					■	■	■	■					
	経過・実績														
③	目標・計画	議会に説明							■				■		
	経過・実績														
④	目標・計画	実証実験の準備								■	■	■	■		
	経過・実績														
⑤	目標・計画	予算措置								■	■	■	■		
	経過・実績														
取組実績 (効果額)							目標達成度								
状況・経緯・問題点等															
4月	<p>人口減少や少子高齢化による人手不足の影響は、長期的かつ粘着質に継続する見込みである。                  現在、育児休業や育児短時間勤務が浸透し、令和8年度から短時間勤務による減収分を補填する制度が創設されたため、子育て世代の職員を中心に恒久的なマンパワー不足となることが想定される。                  不足する人手を確保するための方策（採用等）について検討・実施すると同時に、住民の利便性を損なわない範囲で仕事の合理化を進め、多様化する働き方に適合した最適な職場環境を構築する。</p>														
9月															
11月															
2月															

経過・実績（進捗・状態）
×（未実施・何もしていない）
△（実施中）
○（完了・達成）

目標達成度（点数）	
未実施・何もしていない	0
協議中	25
実施に向けた準備中	50

令和7年度 事業進捗管理票

改革の柱	(6) 住民との協働	担当課	地域みらい課											
取組事項	小規模多機能自治の推進	担当課長名	光嶋 寛昌											
方針	地域に伴走する形で、新たな「地域コミュニティ組織（地域運営組織）」づくりを進める。	関係課	全課											
効果	地域の主体性や自主性が育まれる。	完了年度	なし											
取組目標	地域住民自らが主体となり、地域のビジョンをつくり、課題解決に取り組みながら地域づくりを進めていく。													
取組計画（スケジュール） 上段（黄色）＝予定 下段（×・△・○ 選択）＝経過・実績														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	達成率
①	目標・計画	共有会参加・地元説明												
	経過・実績	○	○											
②	目標・計画	アンケート実施・集計・意見共有（2協議会）												
	経過・実績	○	○											
③	目標・計画	地域まちづくり会議の開催												
	経過・実績													
④	目標・計画	小規模多機能自治交付金申請・概算払（4協議会）												
	経過・実績													
⑤	目標・計画													
	経過・実績													
取組実績（効果額）								目標達成度						
状況・経緯・問題点等														
4月	吉岡コミュニティ推進協議会が住民全員アンケートを実施。													
9月														
11月														
2月														

経過・実績（進捗・状態）
×（未実施・何もしていない）
△（実施中）
○（完了・達成）

目標達成度（点数）	
未実施・何もしていない	0
協議中	25
実施に向けた準備中	50
目標達成に向けて取組中	75
完了・達成	100

令和7年度 事業進捗管理票 (R6年度継続)

改革の柱	(1) 公有財産マネジメントの推進	担当課	上下水道課												
取組事項	水道施設長寿命化に向けた計画作成及び取組	担当課長名	牧野英一												
方針	令和5年度策定したアセットマネジメント及び経営戦略を基に統廃合及びダウンサイジングの検討を行い美咲町水道事業更新計画の策定を行う。	関係課	—												
効果	将来に向けて健全に持続するため、老朽化が進む水道施設の適切な更新、統廃合及びダウンサイジングの検討を行い、平準化した更新需要により計画的な整備を行う。	完了年度	令和7年度												
取組目標	令和7年度末までに計画の策定を行う。また、取組可能な浄水場のダウンサイジング検討を行う。														
取組計画 (スケジュール) 上段 (黄色) = 予定 下段 (×・△・○ 選択) = 経過・実績															
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	達成率	
①	目標・計画	将来管網解析・更新計画の策定に向けての更新箇所検討													
	経過・実績	策定事務業者協議 (担当引継ぎ含む)	△	△											
②	目標・計画	将来管網解析・更新計画の策定													
	経過・実績														
③	目標・計画	浄水場ダウンサイジングの検討													
	経過・実績														
④	目標・計画	浄水場ダウンサイジングに伴う、水道事業認可協議等													
	経過・実績														
⑤	目標・計画														
	経過・実績														
取組実績 (効果額)							目標達成度								
状況・経緯・問題点等															
4月	速やかな事業継続のための打合せを実施。														
9月															
11月															
2月															

経過・実績 (進捗・状態)
× (未実施・何もしていない)
△ (実施中)
○ (完了・達成)

目標達成度 (点数)	
未実施・何もしていない	0
協議中	25
実施に向けた準備中	50
目標達成に向けて取組中	75
完了・達成	100